

北見西ロータリークラブ会報

2021~2022年度クラブテーマ

《つなげる奉仕の心、つなげるクラブと地域の未来》

■創立日 昭和46年4月29日(1971/4/29)
 ■承認日 昭和46年5月27日(1971/5/27)
 ■例会場所 ホテル黒部(7条西1丁目)
 ☎23-2251
 ■毎週木曜日 12時30分~13時30分
 ■事務局 ☎25-2824

■会長 鈴木 康士 ■会長エレクト 窪之内 覚
 ■副会長 斉藤伸一郎 ■幹事 内藤 薫



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

第2500地区ガバナーテーマ

「ロータリーの素晴らしさを広めましょう」

本日のプログラム

第2400回例会

2022年4月28日(木)

 ホテル黒部

創立51周年記念例会 (夜間例会)

親睦活動委員会

第2399回 例会記録

2022/4/21

北見西ロータリークラブの友好クラブである韓国晋州ロータリークラブの創立者、金一氏がご逝去されました。例会に先立ち、哀悼の意を表し、黙祷を捧げました。

会長挨拶

鈴木会長



皆さん、こんにちは。昨日・今日と初夏を思わせるような暖かい気温が続き、気持ちもほぐれる感じがいたします。


冒頭、皆様に黙祷をいただきましたが、友好クラブである韓国晋州ロータリークラブの創立者でいらっしゃる金一様が4月14日お亡くなりになりました。高い所からですが、心よりお悔やみを申し上げる次第です。

加藤先輩、亀井先輩、渡辺先輩はじめ、クラブの大先輩の皆様は実際に何度もお会いされ、また、金先生も何度もクラブに来訪され、両クラブの関係のためにご尽力をくださいました。私は松浦会長年度の時にコリアンフェアで、直接一度お会いし、お話ししました。大変素晴らしい笑顔で、周囲の方々に気を配られ、力強くお話しになられていたことを覚えております。

当クラブと晋州ロータリークラブはご存じのように、51年に渡る姉妹友好関係にあります。まさにクラブの歴史そのものですが、この間、当時の小松会長年度に盟約書に署名し、堅く握手をされてから数多くの先輩会員のお力で金先生と晋州クラブとここまでつながって来れたことに哀悼の気持ちと同時に、敬意と感謝の気持ちを表したいと思えます。

2011年、東日本大震災が起き、小泉会長年度の創立40周年記念式典では、ご本人は来られず、記念講演のメッセージを渡辺先輩が代読されました。

「生かされて、生きている。恩返しに小さなことでもいい。自分の出来る物を探して何かをしよう。生も一度きり、死も一度きり、一度きりの人生だから、まず一番身近な人達に出来るだけの事をしよう。生きる事は人間の美しさを失わぬこと。どんなに世界が

天気  (例会時) 最高気温 24℃



昼食

北海道産牛ヒレのヒレカツ 温野菜
 季節のサラダ
 オニオンスープ ライス
 デザート コーヒー

■ニコニコボックス 宮本親睦活動委員

平間会員

コロナに負けない様に皆様がんばりましょう。

宮本会員

誕生日祝って頂きありがとうございます。

渡辺(和)会員

いい事がありました。

千葉会員

にこにこしてます。

変わろうと、どんなに時代が移ろうと、どんなに年を取ろうと、人の心は変わらない」

金先生の多くのご功績と北見西ロータリークラブへの友情に、尊敬と感謝の気持ちを捧げたいと思います。

本日のプログラムは、棧直前会長による卓話「これまでに感銘を受けた柔道家」となっております。昨年度、時間があればということでお聞きしたかったお話ですが、お忙しい中の準備ありがとうございます。どうぞ宜しくお願いいたします。

幹事報告

内藤幹事

- 1) 金一先生のご逝去に際しまして、クラブより香典3万円、供花、弔電を送らせていただきました。
- 2) 旭川東ロータリークラブより創立50周年記念式典及び、祝賀会のご案内が届いております。
日 時 6月18日(土)
会 場 アートホテル旭川
登録希望者は5月16日(月)までに事務局までお知らせください。
- 3) ふれあいキッチンの西本代表様より、昨年の寄付に対してあらためてお礼のお手紙が届いておりますのでご報告致します。
- 4) 合同事務所の連休の休暇について
4月29日(金)～5月8日(日)まで休みとなりますのでご承知おきください。

委員会報告

環境保全委員会 小嶋委員長

緑と花の市民の会より「緑の募金」運動への協力依頼
会員より46,000円の寄付が集まりました。

親睦活動委員会 村田委員長

4月28日(木)の夜間例会について、現在6時より夜間例会の方向で進んでおりますので皆様のご出席の程、宜しくお願い致します。

佐藤次年度幹事

4月28日(木)12:30より次年度クラブ協議会を開催致しますので、対象の委員長様はご出席お願い致します、対象の委員長様で出席が叶わない方は必ず副委員長様の代理出席をお願い申し上げます。

プログラム

会員卓話「これまでに感銘を受けた柔道家」

棧 邦雄 会員 人間尊重委員会



この様にお時間を頂戴し、皆さんの前でお話をさせていただく機会を頂戴しましたこと、大変光栄に思っております。卓話は2回目です。1回目は、入会后まもなくの卓話でした。こんな私の思い出話にお付き合いいただいて良いのかとの思いもありますが、今日は、「平成の三四郎」と呼ばれた古賀稔彦について話をさせていただきますが、その前に、これまでに私が最も印象に残っており、感銘を受けた柔道選手を少し紹介してみたいと思います。

その選手ですが、ご存じの方はおられるでしょうか？それは、岡野 功選手です。(S19年。1944.1.20生まれ) 岡野の選手は、『漫画：イガグリくん』に影響を受けて中学から、茨城県竜ヶ崎市、県立竜ヶ崎第一高校から中央大学法学部へ進学。大学在学中の1964年(昭和39年)、東京オリンピックに中量級の日本代表として出場し、金メダルを獲得。因みに《軽量級：中谷(明治)、中量級：岡

野（中央）、重量級：猪熊（東京教育大）、無差別：神永（明治）》の4人が出場。ご承知のとおり、無差別は、あのオランダのアントン・ヘーシングが優勝。その瞬間を私はテレビで観ておりましたが、監督（松本安市：武専出身、以下全員が泣いていたのを記憶していますが。）でも、考えてみれば、4階級で3つの金、1つの銀ですから、すごいことなんですけどね。

余談ですが、我々が学生の頃は、とにかく柔道は、明治大学が圧倒的に強かったです。いつも大会終了後は、お～明治を聞きながら足重く帰ったのを記憶しています。

余談が長くなってしまいましたが、岡野選手は、1967年（昭和42年）に、全日本選手権で優勝しております。私が大学へ入学する前の年です。そして、私が大学へ入学した翌（昭和43年、全日本で準優勝）、そして、私が大学2年生になっての全日本選手権での優勝です。体重無差別の全日本選手権で、3年間で優勝2回、準優勝1回。これは、体重無差別の大会で、身長170センチ、体重80キロを考えると、我々柔道をやっていたものからすれば、考えられないことです。でも、この事が私が岡野選手に感銘を受けたことですかと？言われれば、これらも確かに素晴らしい偉業ですが、S44年の全日本柔道選手権大会の試合でのことです。この大会の2回戦か3回戦であったと思いますが、この試合は今でも鮮明の記憶に残っています。（これも余談になりますが、対戦した相手が、川端：大分県警（天理大学）で、内股が得意の選手でした。なぜこの試合を注目していたかと言いますと、私の同期で大分出身があり、その同期の姉が、川端選手へ嫁いでいると言うことで、試合前から、この試合は結構おもしろいよと言うので、注目して見ていました。試合開始早々、川端選手が内股をかけました。ものの見事に岡野選手は宙に浮きました。見ている誰もが岡野選手がやられたと思いました。しかし、畳に落ちた二人を見ると岡野選手が上になっておりました。岡野選手は空中に浮いているときに、川端選手のお腹の下に入り込み裏投げで投げたのです。柔道の技で確かに裏投げはありますが、これは形でやることで実際にやれる技ではないと思っておりましたので、良く神業と言いますが、まさに神業だなと思いました。これ以降今までに見たことはありません。歴代の全日本選手権優勝者で最軽量。この事から、岡野選手は、「昭和の三四郎」と称された。

時間もなくなってきましたので、次に「古賀稔彦」選手について話したいと思います。「平成の三四郎」古賀稔彦が亡くなって、1年が過ぎました。53歳という若さでなくなりましたが、古賀の現役時代もこれは皆さん記憶にあると思いますのが、本当に強かったです。以前に話をしましたが、古賀は、北見に本人が大学院生の時に来ております。今、大学に残っている、山本洋祐（62歳）と世界選手権の直前合宿できました。市立体育館での練習でしたが、見に来て良いとのこと、工大の先輩と顔を出しました。練習を見て改めてその強さを再認識しましたが、稽古している選手は、皆、90・100キロ以上の選手で、その選手たちに、上からもたれる（奥襟）をもたれることはいやがる。しかし古賀は、奥襟をもたれてもそれを切る、普通はもたれるのが嫌だから、逃げるのが普通ですが。

そして切ったとたん・切りながら背負い投げに入る。抜群のタイミングです。しかしもたれている釣りを切る力はこれは並のものではないと思います。昨年のオリンピックで優勝した阿部一二三も、古賀も半端な背筋力・腕力ではないと思います。※自慢ではありませんが、私も大学入学して体力測定で、握力は74キロありましたし、ベンチプレスも80・90キロは軽く挙げていましたので、それを考えると二人は本当に半端ではないと思います。その練習の後、山本・古賀の二人を大川がホテルへ迎えに行き飲み連れて行きました。どこへ行ったかと言いますと、今もあります、「キャラバン」です。工大の先輩にどこへ行きますかと聞きましたら、キャラバンで良いと言いましたので、「キャラバンですか？」と聞き直しましたら、「甘やかさなくても良い」と言われました。

山本は何を歌ったか記憶に残っていませんが、古賀は「愛しのエリー」を歌ってくれました。帰り際に山本が、大川に「お前も大変だな」と言って帰ったと後で行っておりました。古賀を語る上で忘れてならないのは兄の元博と講道学舎：横地治男：ダイニッカ株式会社を抜きには語れないと思います。古賀は佐賀県出身ですが、中学より、兄元博を追って、東京の講道学舎（柔道の私塾）へ入塾します。兄の元博も強かったです。稔彦が高校3年生の時、兄元博と（日体大2年）試合で対戦し（同じ階級）兄を破って稔彦が優勝。現在も兄元博は、福岡県の教員です。そして、稔彦はやはり兄を追って日体大へ入学します。その後の活躍はご存じのとおりです。古賀稔彦には三人の子どもがおりますが、上二人が男、下が女の子で三人とも柔道をやっています。1番上の長男：颯人、次男：玄

暉とも、父を追って日体大へ入学して卒業しております。

長男は現在慶応高校の教員、次男は旭化成へ就職し柔道をやっております。二人ともやはり強いです。長男は大学で主将をやっておりましたし、次男は先日（4/3）行われた全日本体重別選手権60kg級でオリンピック金メダリストの高藤を破り優勝しましたが、残念ながら実績で世界選手権の代表は高藤になりましたが。そして一番下の女の子は現在環太平洋大学の柔道部で活躍しているそうです。

古賀稔彦は、大学院卒業後、日体大に残りました。何年ぐらいいたでしょうか？定かではありませんが、古賀が大学をやめる、と、言うことが我々OBにも情報が流れ、ちょっとびっくりしましたが、その後、また古賀はNHKのスポーツキャスターで行くことになっているという話が流れました。しかし、結果的に話はなくなりました。

古賀は、現在の奥さんは2人目ですが、このキャスターの話が出ていた頃に、スポーツ新聞に女性関係のこととしてすっぱ抜かれました。NHKはスキャンダルを嫌いますので。昔、「私はこれで（小指）会社を辞めました」というコマーシャルがあったような気がしますが、NHKの話はなくなりました。しかし、これだけの選手ですから、黙っておくわけがありません。あちこちの大学より声がかかり、また、講演などの依頼もかなりあったようです。

当初は講演料も30万円位でと言われておりましたが、後半は約100万円と言われておりました。そして、結果的には環太平洋大学の総監督、そして、自宅に古賀塾を開塾。この塾だけでは生活は厳しかったようです。

そして、岡野選手も25歳で柔道は引退し、正気塾という柔道の私塾を始めました。これは一流選手を集めて、全日本選手クラスを指導、各大学へ指導員を派遣し収益を得ていましたが数年後なくなりました。

と、言うことは、柔道では「飯は」食えないと言うことです。どこかに所属しなければ。岡野選手はその後、慶応、東大、中央等で柔道師範を歴任し、流通経済大学スポーツ健康学科の教授、体育指導センター長及び柔道部部長として後進の指導に当たり、現在は、流通経済の名誉教授に就任。ただ、明治大学出身の上村春樹：現在講道館館長や現在の全日本柔道連盟会長の山下泰裕や亡くなった斉藤などから見ると、2人ともやや、不遇の道を歩んでいると思います。岡野選手は、6段から昇段しておりませんし、古賀も、本当だったらもっともっと早く、全日本の強化を任されても良い実績を残した人物と思います。

以上、とりとめのない話を長々とさせていただきました。

『講道学舎』の話も少ししたいと思っておりましたが、時間がありませんので省略します。因みに、講道学舎は、1975年（S50年）から40年続きました。

この講道学舎出身の柔道オリンピック優勝者は、古賀稔彦、吉田秀彦、滝本誠、大野将平がおります。

お付き合いを頂き誠に有り難うございました。

■ 例会予告	5月5日	法定休日	
	5月12日	情報集会報告2	R情報委員会
	5月19日	特別休会	

出席報告

今川出席委員長

	月 日	会員数 (A)	出席免除者数 (B)	出席数 (免除者含む) (C)	例会に出席した 免除者の数 (D)	事前メークアップ (E)	事後メークアップ (F)	出席率 $\frac{C+E+F}{(A-B)+D} \times 100$
本日例会	4月21日	60	12	44	8	0		78.60%